

学校名	福島県立いわき湯本高等学校	校長	箱崎 兼一
住所	(本校舎) 福島県いわき市常磐上湯長谷町五反田55番地		
	(遠野校舎) 福島県いわき市遠野町上遠野字赤坂10番地1		
TEL	(本校舎) 0246-42-2178	URL	(本校舎) https://iwakiyumoto-h.fcs.ed.jp/
	(遠野校舎) 0246-89-2515		(遠野校舎) https://tono-h.fcs.ed.jp/

地域を学びのフィールドに「新しい風」を吹かせたい

令和4年4月より、本校は80年の歴史を誇る湯本高等学校と74年の歴史を刻む遠野高等学校が統合した「福島県立いわき湯本高等学校」として新たに開校いたしました。

地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材の育成を目指して、さはこの丘(本校舎)とあかさかの丘(遠野校舎)から新しい風(いわき湯本高校)を吹かせてまいります。

ここでは、地域を学びのフィールドとした取組を紹介します。

※「～生徒と共に74年～遠野ならではの教育」(2021年10月作成)もご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/481788.pdf>



地域課題探究学習

○地域を学びのフィールドとした探究学習

本校舎では、学年ごとに、地域の企業等と連携した探究学習に取り組んでいます。

・いわき発見ゼミ(1学年)

いわきアカデミア推進協議会と連携し、震災復興コース、精密機器コース、ものづくりコース、公務員コース、観光サービスコース、エネルギーコース、看護医療コース、伝統伝承コースなどの8つのコースごとに課題を設定し、企業等のさまざまな取組について訪問・調査した上で校内ワークショップ型の学習を行います。



・職業探究発表(2学年)

医師、看護師、救急救命士、消防士、警察官、自衛官、教員、市役所事務など自分の希望する進路や職業について調べた内容をパワーポイントやポスターにまとめて発表し、質疑応答を行います。



・地域課題探究（3学年）

歴史文化コース、風評払拭コース、地域創生コース、人口増加計画コース、商品開発コース、子どもの福祉コース、建造物・交通コース、原発・海洋コース、観光コース、環境コース、イベントコースなどの11コースに分かれて、個人探究活動の成果をパワーポイントにまとめ、発表します。発表内容については、企業等から審査・講評を受けます。



○遠野和紙継承プロジェクト

遠野校舎では、地域おこし協力隊などと連携し、遠野和紙の原料となる楮やトロロアオイの栽培・管理や自分で漉いた遠野和紙を用いた卒業証書の作成などに取り組んでいます。



※いわき発見ゼミ（伝統継承コース）や遠野和紙保存プロジェクトなどについては、統合校魅力化発信強化事業（県教育委員会指定）としても取り組んでいます。

地域と連携したキャリア教育

両校舎とも、地域と連携した様々な出前講座など、勤労観・職業観を深めるためのキャリア教育プログラムに取り組んでいます。



保健・医療プログラム（県教育委員会指定）

本校舎では、保健・医療系の希望を持つ生徒を対象に、医療従事者としての人間性、職業観を深めるためのキャリア教育プログラムに取り組んでいます。

大学や地域の病院・専門学校と連携し、保健・医療に関する体験学習をはじめ、外部講師による講演会や、保健・医療施設の見学などを行います。

看護医療系（3学年）においては、医療創生大学と連携し、「基礎看護」の授業を実施します。



震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業（県教育委員会指定）

両校舎の生徒会を中心に、震災・原発事故の経験と教訓を継承するため、震災学習に取り組んでいます。

いわき震災伝承みらい館や東日本大震災・原子力災害伝承館への訪問、地域理解の学習を通して、考えたことや感じたことをレポートや壁新聞にまとめ、報告をした上で、意見交換します。

震災学習の成果は、文化祭「湯ノ泉（ゆのみ）祭」で発表しています。



地域に愛される学校づくり

部活動を奨励し、東北大会、全国大会を目指すとともに、両校舎とも、地域貢献活動として、地域のイベントに出演するだけでなく、地域でのボランティア活動にも積極的に参加しています。

